湖南高校だより

福島県立湖南高校
学信通信
責任者
発行校長
秦　尚志

３年生から下級生へ

進路体験発表会

十二月十三日（木）に進学及び就職が内定した三年生が、後輩たちに向けて自らの体験記を発表しました。先輩の話を聞いた下級生の感想を掲載します。

発表者のほぼ全員がインターンシップなどの研修や見学の時には手帳を持参してメモを取ることが大切だと言っていました。私も日頃からメモを取る習慣をつけようと思いました。（一年女子）

私が思ったことは、今のうちからできることを早めにやっておくことです。何事も準備しておくことが大切だと思いました。（二年女子）

私が専門学校の選択にまだ迷っていることを親に話していないので、今日帰ったら話し合おうと思いました。（二年男子）

すべての生徒が刺激を受けたことを記録用紙に記していました。先生方の指導とは異なる説得力があったようです。

リレートーク

→春山→佐藤ふ→髙橋→吉原→栗生→田原→伊藤恵→鈴木→渡邉康→染谷→中野→渡邉大→熊谷→？

いきなりですが「あなたが心からそれを望んだなら、あなたにできないことなんてない」と、そう思っています。もしかして、今のあなたは「サーカスの象」のようになってはいませんか？「サーカスの象」は、ロープで杭につながれてじっとしていますが、実は、杭を引っこ抜くだけの力を持っているんです。なのになぜ、その力を発揮して逃げ去らないのでしょうか？答えは簡単です。「自分にはたいした力がない」と思い込んでいるからです。象は子どもの頃、丈夫な鎖で杭につながれて毎日を過ごします。小さいのでたいした力もなく、鎖の杭を引っこ抜くことができないのですが、象は成長して大きくなってからも、その思い込みにとらわれ続けてしまうのです。調教師はそれを知っているので、鎖のかわりにロープを使って象を杭につなぎとめます。大きな象にとって、杭を引っこ抜くくらいたやすいはずなのですが、象は「自分にはたいした力がない」と思い込んでいるので、何もせずにじっとしているのです。いかがですか？あなたも、「サーカスの象」のように、「自分にはたいした力がない」と思い込んでいませんか？そして、十代後半の大切な時間を、無為に過ごしてはいませんか？（そうは思っていないでしょうが）あなたが一番に信じているのは、あなた自身の言葉です。だから、「俺にできるのはこの程度だ」とか「やっぱり私にはできないんだ」と、常日頃からあなた自身が、自分に向かって言葉がけをしていたとしたなら（ここで言う「言葉がけ」とは、心の中での「内言」のことで、「自分自身が心の中でそう思うこと」自体を指しています）、あなたはその自分の言葉を信じ、自分はその程度の人間だと勝手に見定めてしまうのです。人は、セルフイメージが大切です。「自分にはできない」と思っているよりも、「自分にはできるんだ」と信じている方が、人生の困難にも前向きに対処していくことができます。ただ、根拠のない自信は、すぐに自壊してしまいます。だから、自信の根拠をつくって欲しいと願っています。「毎朝自分で起きる」「脱いだ靴は必ずそろえる」「見かけたゴミは拾って捨てる」でも何でも構いません。明日から何かを始めてみましょう。そして、それを続けてみましょう。その継続が、どんなことにもつながる自信の根拠となってくるはずです。そして、保護者の皆様にも、（自戒を込めて）お願いがあります。心理学的には、自分自身の「内言」とともに、身近な人から、否定的な言葉がけを受け続けた場合も、その本人に過小評価が定着すると言われます。お子さんの小さな成長を評価してあげて下さい。古き日本では、言葉そのものに霊力が宿っており、言葉を発するといずれそれが現実になるという「言霊（ことだま）」という考え方がありました。私自身も明日からその「言霊」を信じ、もう少し自分の子どもに前向きな言葉がけをしてあげたいと思います。生徒諸君に、最後にもう一度言います。「若いあなたたちには、限りない可能性があります」もし、その可能性を無駄にするというのなら、あなたが持っているその時間を、かつて「サーカスの象」だった私に下さい。あなたたちの可能性というのは、すなわちその若さのことです。私にはその若さが、うらやましく、否、ねたましくさえ感じるのです。（熊谷明彦・くまがいあきひこ・二学年主任）

**自志誠
律高実校
協聡勤訓
同明勉**

★2学末考査学習時間トップ5★
（テスト期間１０日間の合計）

1位	YSさん	86．0時間
2位	KOさん	78．5時間
3位	MSさん	60．0時間
4位	KOさん	57．0時間
5位	KKさん	52．0時間
学校全体平均		24．2時間

学校ホームページのメニュー「湖南高校だより」からも見ることができます。PC版でご覧ください。